

## 年々増加…和歌山県内の子ども食堂

地域の子どもたちに食事を提供する「子ども食堂」。2019年12月のわかつく第227号でご紹介した時には県内の子ども食堂の数は29でしたが、その後年々増加しています。「地域の居場所」など様々な機能も期待されるようになってきました。子ども食堂の最新事情を探りました。



2022年6月、和歌山県子ども未来課調べ。このほかにも複数の子ども食堂があると見られている。運営者の承諾が得られた子ども食堂については和歌山県子ども未来課のウェブサイト住所・連絡先・開設日などのリストあり。

**3年で1・6倍に**  
和歌山県子ども未来課がウェブサイト上で公表している子ども食堂の一覧表には、県庁が把握している子ども食堂の場所、運営形態、料金、連絡先等が記載されています。団体の希望により詳細が非公開になっているところもあり、今年6月末現在で47施設がリストに掲載されており、子ども食堂の数は3年で約1・6倍に増えています。

**広く地域に開かれた存在にも**  
子ども食堂の全国ネットワーク組織である「NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ」の調査によると、全国の子ども食堂の約8割は利用対象を特に限定していません。子ども食堂は貧しい家庭の子どもの行く施設、という誤解を払しょくし、地域の子どもたちが自由に出入りできる場所として

て開放するところが増えています。また、子ども食堂で大学生や教員OBなどのボランティアによる学習支援をおこなったり、親同士で子育ての悩みを共有したりといった、食事以外の機能を持たせるところも増えています。

**コーディネーターや支援の広がりも**  
和歌山県庁で子ども食堂を担当する子ども未来課では、今年度から「わかやま子ども食堂応援ネットワーク」としてコーディネーターを配置し、子ども食堂の運営者と子ども食堂を調整する取り組みをスタートしています。また県内の子ども食堂の緩やかなネットワーク組織として「NPO法人子ども食堂わかやま」が昨年設立され、県内各地の子ども食堂の運営支援に当

っています。さらに企業や農家各種組合などが、まだ食べられるにも関わらず廃棄せざるをえない食品などを寄贈する「フードバンク」、家庭等で食べきれなくなった食品などを集める「フードドライブ」の取り組みが各地で広がっており、子ども食堂の運営にも役立てられています。

**多彩な人材が参画**  
子ども食堂の運営主体がまちまちであることから、子ども食堂運営には非常にたくさんの方々が関わっています。

和歌山県内ではNPO・ボランティア団体のほか、企業や学校の関係者、社会福祉協議会の職員や民生・児童委員のみなさんのほか、それまでボランティアとは縁もゆかりもなかった地域住民な農家のみなさんなどが運営に参画している事例があります。

この2年ほど、運営が新型コロナウイルス感染症の動向に左右されるなど、子ども食堂を取り巻く環境は必ずしも良好とはいえないが、今後も子ども食堂が増えることが予想されています。地域のつながりが希薄化していると言われたいくつか、地域全体で子どもの育ちを応援する、子ども食堂の仕組みがひとつとして地域のつながりの再構築に有効な手段になるかもしれません。(志場久起)



### 和歌山県内 NPO・ボランティア支援組織 連携交流事業

## ZOOMの主催講座 + 交流会

ZOOMで会議や研修に参加することはできるようになったけど、もう少し先に進みたい、更にステップアップしたい方のためのオンライン講座。参加者同士の交流もZOOMを使って楽しみましょう！

**8月20日(土) 10:30～12:00 ZOOMオンライン開催**



対象：現在、和歌山県内でNPO・ボランティア活動に携わっている方  
講師：榎野吉晃さん（認定NPO法人サービスグラント関西事務局・色川クラフトビールプロジェクトメンバー・NPO広報友の会世話人）

- 内容：1. ZOOM主催者（ホスト）のやるべき役割とは
- 2. ZOOM使用時のポイント
- 3. ハイブリッド開催について
- 4. 参加者交流

こちらからお手元のスマートフォンを使ってオンライン申し込みができます  
★メールアドレスの入力間違いにご留意ください

【主催】和歌山県 NPO サポートセンター  
TEL 073-435-5424 メール info@wakayama-npo.jp

この事業は、和歌山県 NPO サポートセンターが主催し、和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会、橋本市市民活動サポートセンター、田辺市市民活動センター、新宮市ボランティア・市民活動センターの県内4つのNPO・ボランティア支援組織・機関の協力を得て開催します。



## NPOのための防災講座

参加費無料

気象台が発表する「防災気象情報」や「警戒レベル」の発令の際、どのような行動をすれば、自分の身を守ることができるでしょうか？様々な防災情報について知り、迅速に行動できる術を学ぶことのできる講座を開催します。

**8月24日(水) 13:30～15:00**  
**和歌山ビッグ愛9階会議室C・ZOOMオンラインハイブリッド開催**

対象：現在、和歌山県内でNPO・ボランティア活動に携わっている方  
講師：熊谷達也さん（和歌山地方気象台 観測予報管理官）

※新型コロナウイルス感染症の状況によってはすべてオンライン開催にするなど開催形態の変更を行うことがありますので、ご了承ください。

こちらからお手元のスマートフォンを使ってオンライン申し込みができます  
★メールアドレスの入力間違いにご留意ください

【主催】和歌山県 NPO サポートセンター  
TEL 073-435-5424 メール info@wakayama-npo.jp

